

第108回日本陸上競技選手権大会 男子 20km 競歩にて 山西選手が世界新記録を更新し優勝

愛知製鋼陸上競技部（監督：渡邊聰）所属の山西利和選手と丸尾知司選手が、2月16日（日）に兵庫県にて開催された「第108回日本陸上競技選手権大会」の男子20km競歩に出場し、山西選手が世界新記録の1時間16分10秒で優勝しました。これにより東京2025世界陸上競技選手権大会の日本代表に内定しました。

山西選手は丸尾選手と序盤から積極的なレースを展開。13km過ぎからさらにペースを引き上げ、持ち前の力強い歩きでゴールし、従来の世界記録を26秒上回る結果となりました。

丸尾選手は、ハイペースのレースを力強く歩き抜き、自己ベストを1分42秒上回る1時間17分24秒で2位入賞。今後の代表選出に向けた大きな一歩となりました。

愛知製鋼陸上競技部では、今後も更なるチーム力強化を推進し、世界の舞台で活躍できる選手の育成に努めるとともに、よりいっそうの日本のスポーツ振興と地域貢献を果たしてまいります。

山西選手 コメント

いつも応援ありがとうございます。

昨日行われました日本選手権20km競歩において、世界記録を上回るタイムで優勝することが出来ました。また、9月の世界選手権にも内定をいただき、再び世界の頂点を決める戦いに挑めることを嬉しく思います。自分自身の更なる可能性を信じて、引き続き精進して参ります。今後ともよろしく願いいたします。



ゴールテープを切る山西選手



山西選手（左）、丸尾選手（右）

【参考】

1. 山西利和選手、丸尾知司選手 プロフィール
[選手・スタッフ紹介 | 愛知製鋼陸上競技部 \(aichi-steel.co.jp\)](#)